

画期的脱臭装置「セラルファ」 臭いの元を99.9%吸収



内田電気工業株式会社

電設部門と 環境部門を柱に

内田電気工業は脱臭装置を扱う環境部門と各種電気工事を請け負う電気設備部門を柱としている。

異臭を含む特定のガスを脱臭する装置の製造・販売・メンテナンスを行う環境部門は、「60歳を迎える前に環境に関する事業をやりたい」という内田頼泰社長の強い意向で立ち上げた。電気設備部門は創業当時の本業。高圧受電設備や動力制御盤、各種プラント向け自動制御盤の設計・製作、各種電気工事の施工等を行う。自社で制御盤の設計・製作ができることが、環境部門においても強みとなっている。

湿気や油分を 前処理段階で除去

業績が顕著に伸びているのは環境

部門。食品工場、ホテル、レストランといった施設から出る排ガスや、インクジェットプリンター・スクリーン印刷時に出る排ガス向けの脱臭装置等が主力だ。

脱臭装置は大阪大学、関西大学らと産学共同で開発した吸着材「セラルファ」に、湿気や油分を前処理の段階で取り除くという独自の前処理システムを備えたもの。

セラルファはセピオライトという鉱石と活性炭を混ぜ合わせて成型する。孔径約2・5mmのハニカム構造を採用し表面積を増加させるとともに、空気の通りを良くして脱臭機能を高めた。有害物質のホルムアルデヒドの実に99・9%を吸収できるという、長期間の使用にも耐える。セラルファの成型と前処理部分については特許を保有しており、他社に真似できない装置となっている。

脱臭剤は再生＆ リサイクル可能

もうひとつセラルファの大きな特長はリサイクルできることだ。内田社長によれば「活性炭のみを利用した脱臭装置はコストが安いことから普及していますが、使い捨てであることが難」とのこと。セラルファは160℃の熱を加えることで臭いが抜け、何度でも再利用できるのが利点で、同社では回収・再生を行うメンテナンス事業も手掛けている。

脱臭装置は大手コンビニチェーンの弁当工場にも導入されている。弁当工場は24時間稼働しているうえ、天ぷら油等を使用するため異臭が周辺

住民を悩ませていた。これを脱臭装置が解消し、今では全国の工場へ導入が進んでいるという。

内田社長は「当社だけでは日本全国をカバーできませんが、協力会社とのネットワークを構築して、脱臭装置をより普及させたい」と夢を語る。同社はまたブログを活用し、日々の活動を一般に公開している。「当社は物売りだけをしているわけではありません。お客様がこれを見られて、内田電気工業はちゃんとやっている、と安心いただけたらと考えています」。

内田電気工業株式会社

Company Profile

住所 / 〒564-0038
大阪府吹田市南清和園町40-26
設立 / 昭和55年
資本金 / 2,000万円
従業員 / 6名 (平成21年1月現在)
TEL / 06-4860-3232
FAX / 06-4860-0555



内田頼泰さん
代表取締役社長

主な事業内容

脱臭装置製造
販売、電気設備
事業等

大阪
14

<http://uchidadenki.com/>